

# 涙の卒業式

三月二十九日は、生涯忘れていた。そんななか「不登校」を知らず、生きる希望がでてきた。

教師からの「暴言」や「体罰」、生徒からのいじめなどを今まで訴えてきたけれど、状況は悪化するばかりで、長男はがまんの世界を越えてしまった。

「心の病」扱いをする学校から逃れたいばかりに理解ある医師に診断書を書いてもらい、やっと休ませることができた。(今考えるとおかしなことだが)

私たち親子は、「死」をも考えるほど追いつめられ



念で礼服に身を包んだ校長と、担任をはじめ諸先生方に迎えられ、長男の卒業証書授与式が教頭の司会で行われた。

校長が長男の前で卒業証書を読み上げ、授与するとき、担任は滂泥の涙だった。花束も贈呈され、全員で記念写真を撮った。珈琲やお茶菓子を前にそれぞれ

の教師が、傷ついてもなお優しいわが子の心に、反省と感謝と決意を述べた。一緒に出席した祖父母も涙で思いを語り、私はこの日のために用意した自作の歌

